

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

プライドを胸に

校長 小山 裕之

10月の給食の時間のことです。一人の生徒が職員室の入り口で、「失礼します。」と声を発しました。続いて「放送委員ですが、放送室の鍵を取りに来ました。今日は当番がインフルでお休みなので、代わりに。」職員が「給食食べたの？今日はもう無理なくていいんじゃない？」と尋ねると、「やりたいので、やらせて下さい。」礼儀正しく挨拶を済ませ、鍵を手に入れました。訳を尋ねると、「誇りがあるので。」と話してくれました。機転を利かせた爽やかな行動に、心温まる思いで去り行く背中を見つめました。



9月半ばから10月には、新人体育大会の予選会が行われました。1・2年生の新チームとなって初の大きな公式戦です。いずれの会場でも、勝敗に関わらず全力を尽くす杉中生でした。激戦を制して見事、県大会出場を掴んだ選手の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。

真剣勝負の傍らで、靴やカバン、自転車等がきれいに整頓された様子を目にしました。また、活躍する選手だけでなく、明るい歌声で仲間を励ます応援の姿を目にしました。試合に臨む姿勢やチーム一丸となった行動に、杉中生としてのプライドを見た気がしました。

10月上旬に行われた北葛駅伝大会では、男女共にAチームが2位入賞を果たしました。惜しくも県大会出場とはなりませんでした。それぞれの選手が、襷を渡すと同時に倒れ込むような魂の走りでした。



校内ではインフルエンザが流行した時期と重なり、万全の状態ではなかったかもしれません。また、発熱により参加できなかった選手や急遽メンバーとして出走した選手もありました。そうした状況の中、チームを支えてくれたのが3年生でした。部活動引退後も黙々と練習に励み、仲間の士気を高め、全力で挑戦することの素晴らしさを、その姿で示してくれました。メンバーの一人一人が、一層たくましく、頼もしく感じた大会でした。



昼休みや放課後、教室から美しい歌声が聞こえてきます。昨日も、今日も、職員室や校長室にまで。歌っている人の姿は見えません。が、その歌声から、真剣な表情や歌に懸ける思いが目に見えます。もしかしたら、歌うことが得意な人もいれば、本当はそうでない人もいるのでしょうか。でも、一人一人が自分のパートの歌い方や声の出し方等に磨きをかけ、仲間や先生と一緒に、自分たちの「合唱」を創り上げたいと願う思いが、その声に込められています。クラスの団結や学年の色

を、どんな「合唱」で表現してくれるのか、楽しみでなりません。

合唱祭は10月27日（金）に予定しているため、このお便りを御覧いただく頃には、既に合唱祭を終えているかと思いますが、保護者の皆様には是非、子供たちの一生懸命な姿、成長した姿を御覧いただけたらと思います。

3年生は2回目の進路学習会を終え、進路選択の時期が近づいています。それぞれの生徒が目標に向けて力を伸ばし、夢の実現に近づけるよう、教職員一同支えて参りたいと思います。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。